

高田小 学校だより



高田の風

8月号

令和2・8・9

発行者 宮本 昭雄



8月9日は長崎原爆祈念の日です。本来ならば児童全員、高田小学校に集まり、世界の平和と原爆で亡くなった方々への祈りを込めて黙祷し、各学級の平和の誓いを発表する予定でした。しかし残念ながら、新型コロナウイルスの感染防止のために、登校日を中止にしました。子どもたちは学校に集うことはできませんが、それぞれの場所から哀悼の想いを祈りに込めてほしいと願っています。

※ 以下に9日の平和集会で子どもたちにお話しする予定だった内容を掲載しています。ぜひ子どもに読んであげてください。どうかよろしく願います。

被爆75周年の祈念 平和集会講話原稿より

高田小学校のみなさん、おはようございます。
夏休みのちょうど折り返し点の日に、こうして元気にみなさんと会えたことを大変嬉しく思います。

話は変わりますが、夏休みに入って、あなたはいつも今の時間だいたい何をしていますか？

- 勉強している ○おやつを食べている
- 習い事やスポーツ教室に行っている ○友達と遊んでいる
- テレビを見ている

みんないろいろなことをしていますね。いま校長先生が尋ねた「いつも今ごろの時間は何をしていますか？」という問いの答えを覚えていてください。

さて、夏休みに入る前の終業式で、夏休みのくらしで校長先生が一番言いたいことは何かと尋ねました。何でしたか？

「**命を大切にすること**」でした。私たち一人一人の命はつながっている。命を受け継いでいるから大切なのです。」と言いました。あらためて言います。「**命を大切にすること**」

さて、今日は8月9日。私たち長崎に住む者にとって、決して忘れられない、忘れてはいけない日です。

75年前の今日。11時2分。8月6日の広島に続いて、2発目の原子爆弾が、長崎市松山町の上空500メートルで炸裂しました。

実は、原子爆弾が落ちる前、空襲警報が解除されていました。防空壕に避難していた人たち、工場で働く人たちなどは、みんな職場に戻っていました。それぞれのお家のお母さんは、お昼ごはんの準備に取りかかっていた。

このような、ふだんの生活にもどった時間に、原爆は炸裂したのです。原爆が落ちた後のようすは、先月7月15日の黒板さんと原尾さんに読んでいただいた「被爆体験記」で詳しくお聞きしましたね。とても辛いお話でした。

さて、今日のはじめに校長先生が尋ねた「いつも今ごろの時間には何をしていますか？」を思い出してください。もし75年前でしたら、今日のあなたはどうなっているでしょうか？

あなたの命は亡くなっているかもしれません。幸いに生き残れたとしても、家族を失い一人ぼっちになっているかもしれません。また、熱線や爆風で大けがをし、その後も放射能で重い後遺症に苦しむことになるかもしれません。

あなたが何かわるいことをしましたか？・・・いいえ、ちがいます。何もわるいことはしていません。75年前の長崎の人たちもそうでした。突然、奈落の底に突き落とされたのです。あってはいけないことが、起こってしまったのです。

こんな悲しい過ちを繰り返さないために、この悲惨な出来事を語り継ぐ必要があります。これから先、皆さん一人一人が語り継ぎ、平和をつくる人になってほしいです。

平和な世の中をつくっていくためには、何が大切なのでしょう？今日はこのことをじっくり考える1日にしたいものです。

今日、今この時間に長崎の平和公園では、平和祈念式典が行われています。同じ長崎に住む者として、平和公園で式典に参加されている人と同じ気持ちで、今日1日を過ごすことができたらと思います。

